

第1号報告

平成30年度 事業計画

1. 通常総会

平成30年5月25日（金）アルカディア市ヶ谷において、第59回通常総会を開催する。

2. 理事会

理事会は原則として年6回以上開催する。

3. 委員会

[常設委員会]

常設委員会は以下のとおりで、委員会は必要に応じてその都度開催する。

- ・ 総務委員会
- ・ 会誌編集委員会
- ・ シンポジウム実行委員会
- ・ PCサステナビリティ委員会
- ・ PC技術規準委員会
- ・ PC鋼材委員会
- ・ PC技術講習会委員会
- ・ PC技士委員会
- ・ コンクリート構造診断士委員会
- ・ 国際委員会
- ・ PC工学会賞選考委員会
- ・ 公募研究課題選定委員会
- ・ PCアーカイブス委員会

4. 調査研究事業

(1) 規準作成

1) PC技術規準委員会

本委員会を2回開催する予定である。規準改訂に関しては、「コンクリート構造設計施工規準－改訂版－」を発刊する予定である。また、「PC斜張橋・エクストラードボード橋設計施工規準」（2009年2月）の改訂小委員会が新たに発足し、年度内に改訂作業を終える計画で委員会を2回、幹事会を8回開催する予定である。

2) PC鋼材委員会

工場加工型防食PC鋼材について、種類別にポイントや適用の注意点、事例など資料のとりまとめを行う。また、PCケーブルに関する耐久性向上の取り組み、および維持管理

方法などの現状と課題に関する討議を行う。さらに、*fib* commission 5 に参画し、国際規準作りに国内意見の反映を図る。その他、土木学会のコンクリート標準示方書の改定に関して、PCケーブルに関連する内容に関して周知を図る。

(2) 公募研究

1) PC複合津波防災構造委員会

平成30年度は、委員会を2回、幹事会を4回程度開催する。津波防災構造物について数種類の構造形式について、それぞれの施工方法の詳細検討と適用範囲の明確化を図る。その上で、想定津波、背後地の状況、建設地点の地盤条件などに応じた最適構造選択フローについてケーススタディを通じて検討する。

(3) 受託研究

1) 更新用プレキャストPC床版技術検討委員会（その2）

平成30年3月に策定した「プレキャストPC床版による道路橋更新設計施工要領」の発刊に伴う講習会を8月以降に東京、大阪、仙台および福岡で開催する予定である。講習会開催のため、幹事会を2回開催する計画とする。

2) 連続繊維補強材のPC構造物への適用に関する委員会

連続繊維補強材（FRP）をRC、PC構造物に採用する場合の設計・施工指針を作成するにあたり、最新の知見、関連規準類などから材料の性能、照査方法を確認して、草案を作成する予定である。

(4) PCサステナビリティ委員会

PCサステナビリティ宣言の広報活動を目的にチラシを制作し配布する。「PCサステナビリティ賞」の新設について検討を行う予定である。併せて、広報に必要な評価や事例についても調査を行っていく。

(5) PCアーカイブス委員会

PCのアーカイブ化に向けて、どのような体制とするか、ハード、ソフト両面から検討する。委員会を2回、幹事会を3回開催するとともに、検討する内容によりWGを設置して活動する。また、会誌に「PC工学会設立60周年記念特集号」に委員会活動成果として、「PC創成期」の投稿を予定する。

(6) 国際活動

1) *fib* 関連活動

総会、理事会、最高幹部会および各研究委員会に参加して、*fib* の重要な行事の企画、立案、運営、調査、研究活動に参画する。

2) *fib* コングレス

今回は4年に一度のコンGRESSであり、2018年10月8日～11日の期間、オーストラリアのメルボルンで開催され、本学会員の参加と情報発信に努める。

3) その他の国際対応

「PC工学会の国際化を進めるための企画・提言を行うこと、ならびに日本のPC技術を海外へ情報発信すること」を目的に以下の活動を行う。

- ① 英語版ホームページの更新
- ② 海外学協会との連携についての検討
- ③ 日本のPC技術の海外普及策等についての検討
 - ・規準類の英語化ならびに海外への普及についての検討
 - ・2018ナショナルレポートへの対応
 - ・PCシンポジウムの国際化についての検討
- ④ *fib* Commission 1, 5, 10 に参加
- ⑤ ミャンマーとの技術交流の計画および開催
- ⑥ PCシンポジウムの海外からの特別講演者招聘計画および対応
- ⑦ 日米のPC橋に関するセミナーの計画および開催
- ⑧ PC技術講習会テキストの作成および講習会講師

(7) 会誌等発刊

1) 会誌

会誌は一般号および特定課題による特集号を、会誌編集委員会にて企画・編集を行い計年6回発行する。特集号の課題は60巻4号「建築特集」、60巻6号「PC鋼材の維持管理技術(予定)」、61巻2号「PC工学会設立60周年記念特集」とする。

2) ナショナルレポート

ナショナルレポート編集委員会は、2018年10月にオーストラリアのメルボルンで開催される第5回 *fib* コングレスでの冊子配布に向け、また今後4年間、日本のPC技術を世界に示す有用なツールとするために、引続き以下の活動を行う。

- ① 原稿の修正依頼ならびに確認
- ② 冊子およびDVDの編集
- ③ 第5回 *fib* コングレスでの冊子配布ならびに口頭発表

なお、刊行する「ナショナルレポート」は公益社団法人日本コンクリート工学会と共同で制作する。

5. 講習会等事業

(1) 技術講習会

1) PC技術講習会

第46回PC技術講習会は、「日本の誇れるPC技術」をテーマとし、平成30年6月1日(金) 東京：江東区文化センターを皮切りに、同5日(火) 仙台：イズミティ21、同6日(水) 大阪：エル・おおさか、同8日(水) 名古屋：ウィルあいち、同12日(火) 高松：ホテルパールガーデン、同13日(水) 広島：広島市西区民文化センター、同15日(金) 札幌：ホテル札幌ガーデンパレス、同22日(金) 新潟：新潟県自治会館講堂、同26日(火) 福岡：福岡国際会議場、の9会場において開催する。

(2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

「第27回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は、2018年11月8日（木）・9（金）の2日間にわたり、「ひめぎんホール」（愛媛県松山市）において開催する。幹事会および各WGは、シンポジウム開催の準備、運営を行う。

その後、第28回シンポジウムは「ウィンクあいち」（愛知県名古屋市）において2019年11月7日（木）・8日（金）に開催する予定であり、その企画を行う。また、シンポジウム実行委員会では、2020年の開催地の決定および2021年の開催候補地を選定する。

(3) 研修セミナー

1) 「コンクリート橋・複合橋保全マニュアル」の発刊に伴うセミナー

PC橋の維持管理マニュアル作成委員会により、斜張橋、エクストラード橋および複合橋も含めた、PC橋の維持管理に関する具体的な手法を明らかにしたマニュアルが平成30年3月に策定され、その発刊に伴うセミナーを東京、大阪、仙台および福岡で7月下旬以降、順次開催する予定である。

2) 高強度鉄筋緊張PRC構造の設計指針セミナー

高強度鉄筋緊張PRCの研究と設計指針の作成委員会（平成28年度末終了）が策定した「高強度鉄筋緊張PRC構造の設計指針・同解説（案）」を発刊する予定である。講習会を東京、大阪において開催する予定である。

6. 資格認定事業

(1) プレストレストコンクリート技士資格制度

PC技士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

標記講習会を平成30年9月3日（月）にアルカディア市ヶ谷において開催する。

2) プレストレストコンクリート技士試験

標記試験を平成30年10月14日（日）に東京：ベルサール九段、大阪：YMCA国際文化センター、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) プレストレストコンクリート技士の登録

プレストレストコンクリート技士試験合格者の登録、ならびに登録有効期間（4年間）満了となる資格者の申請により登録更新を行う。また、登録失効者に対しては、講習会の受講によって再登録を行う。

(2) コンクリート構造診断士資格制度

コンクリート構造診断士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) コンクリート構造診断技術講習（eラーニング）

コンクリート構造診断士試験に先立ち、受験資格として受講が義務付けられているコンクリート構造診断技術講習を昨年に引き続きweb上でのeラーニング講習とした。eラー

ニングでの講習期間は3月1日から6月29日である。受験資格としての必要な講習終了は願書提出期限の5月30日までとする。

2) コンクリート構造診断士試験

標記試験を平成30年7月8日（日）に東京：ベルサール九段，大阪：YMC A国際文化センター，福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) コンクリート構造診断士の登録

コンクリート構造診断士試験合格者の登録および講習会受講者の申請によりコンクリート構造診断士補の登録を行う。今年度は，平成26年度（2014年度）登録者の資格更新研修を実施する。研修として研修報告書の提出を義務付けている。

7. プレストレストコンクリート工学会賞授与事業

プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会にて，論文賞，作品賞，技術開発賞および施工技術賞の授賞候補を選考し，通常総会にて授与する。